

2025年3月31日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃
 (コード番号：3681 東証プライム)
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝
 (TEL. 03-6625-5011)

上場維持基準(流通株式時価総額基準・純資産基準)への適合に向けた計画及び進捗状況

当社は、基準日の2024年12月31日時点において、プライム市場における上場維持基準のうち、流通株式時価総額基準について2023年12月31日時点に引き続き適合しない状態となりました。また、同上場維持基準の純資産基準に適合しない状態となり、適合に向けた計画を作成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなり、流通株式時価総額と純資産の額については基準に適合しておりません。

当社は、2025年12月末日までに上場維持基準へ適合するために各種取組を進めてまいります。

		流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金	純資産の額
当社の 適合状況	2023年12月31日	67.9億円	79.8%	1.57億円	630,325千円
	2024年12月31日	46.8億円	79.4%	0.63億円	△121,804千円
上場維持基準		100億円	35.0%	0.2億円	正であること
適合状況		不適合	適合	適合	不適合
計画期間		2025年12月末 まで			2025年12月末 まで

(注1) 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

(注2) 純資産の額は、連結貸借対照表に基づいて算定される純資産の額に、法令の規定による準備金又は引当金(連結財務諸表規則第45条の2第1項)を加え、非支配株主持分を控除した額であり、2024年12月31日時点で連結及び単体において債務超過ではありません。

2. 純資産基準への適合に向けた取組の基本方針

2025年2月13日付「連結子会社TEN Holdings, Inc.のNASDAQ上場による資金調達額の見込みに関するお知らせ」のとおり、連結子会社TEN Holdings, Inc. (以下「TEN」)のIPOにより資金調達したことから、本日時点の純資産の額は正となっております。当社グループといたしまして、2025年12月末日まで純資産の額が正であることを維持できますよう努めてまいります。

3. 流通株式時価総額基準への適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2025年1月～2025年12月）

基本方針を「株価の向上」と定め、2024年12月期は事業の進捗遅れや収益バランス悪化による下方修正を回避し、2023年12月期の営業赤字からの黒字転換と、業績予想を確実に達成することによる信頼回復を目指してまいりました。

2024年12月期は、期初時点の業績予想では連結営業利益500百万円とさせていただき、黒字転換を目指してまいりましたが、翌期以降の業績への影響を考慮した事業ポートフォリオの入れ替えによるプロフェッショナルワーク事業（緊急対策領域）の売却や、国内イベントDX事業の低調により、連結売上高は昨対比で減少いたしました。この影響に加え、TENにおいてはオーガニックの成長だけでなく、翌期以降の成長に向けた施策に注力した結果、経営陣をはじめとした組織体制の再構築やNASDAQへのIPO費用の計上等により収益性が低下し、連結営業損失は156百万円となりました。

4. 上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取り組み内容

(1) 流通株式時価総額について

引き続き、収益性の向上による信頼回復及び成長期待による株価向上が課題と考えております。

単体（国内）では2023年下期より、外注比率の最適化など原価改善や固定費の削減、自社開発プロダクトの選択と集中の施策に取り組んでまいりましたが、そのような収益構造に大きな影響を与えていた課題の解消が進んでおります。売上は、事業ポートフォリオの入れ替えが進んだことで今後大きく減少するセグメントは想定しておらず、限界利益率のコントロールや固定費の適正化のための体制を構築しており、今後も収益構造のモニタリングを継続しながら、売上拡大を通じた利益成長を目指してまいります。

TENでは経営陣をはじめとした組織体制の再構築やNASDAQへの上場を完了しており、調達した資金を活用し、今後は既存事業の成長とともに安定的な収益をもつ同業他社の買収を通じたロールアップ戦略に注力いたします。

2025年12月期の業績予想につきましては、TEN上場後の施策の進捗等の影響が見通しづらい状況から、売上のみを開示させていただいておりますが、上記の通り単体及びグループ全体において収益性の向上と中長期的な成長に向けた施策に取り組んでまいります。

以上の取り組みや事業の状況について、投資家の皆様にご理解いただけるよう、引き続きIR活動において情報開示と市場との対話を推進してまいります。また、2025年3月28日付でグループCEOの間下は会長から社長へ役職変更いたしました。これにより、業績向上及びプライム市場への上場維持に向けて、市場との対話や株価向上に資する施策等へのコミットメントを強化いたします。

(2) 純資産の額について

主に2023年12月期におけるTEN株式に係るのれんの全額の減損損失、2023年12月期及び2024年12月期におけるソフトウェアの減損損失等により、2024年12月末時点の純資産の額は大きく減少いたしました。が、「2. 純資産基準への適合に向けた取組の基本方針」に記載のとおり、本日時点の純資産の額は正となっております。

財務の健全性を維持し、2025年12月末まで純資産の額が正であることを維持できますよう努めてまいります。

以上